

厚生労働大臣認定 キャリアコンサルタント養成講習
米国CCE,Inc.認定 GCDF-Japanキャリアカウンセラー養成講座

GCDF-Japanキャリアカウンセラー トレーニングプログラムのご案内

専門実践教育訓練給付金指定講座

キャリアとは、人が「生きていく」ということそのもの
自分らしい仕事や生き方を選択していくための援助を行う専門家、
それがキャリアカウンセラー・キャリアコンサルタントです

◆ 日本が国を挙げて取り組む キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタントの養成

働き方改革・キャリア形成の多様化が進む中、「個人のキャリアを支援する」・「企業活力に貢献する」
キャリアコンサルタントへの期待やニーズが高まっています

キャリアコンサルタント国家資格化の背景

国は「キャリアコンサルタント」を「働く人が主体的に職業能力開発をするための支援をする役割」を担う専門家として国家資格化し、2024年までに10万人を養成する計画を決定しました。まさに国を挙げて「キャリアコンサルタント」を拡充していくというこの政策の背景には、今後日本の労働人口が確実に減少していくことがあります。労働者数の減少は、国力の低下に直結するため、労働者数が減少したとしても「生産性の向上」を図ることにより、トータルの労働力を強化していかなければなりません。そのためには、働く人の働き方を多様化すると同時に、働く人自身が主体的に自らの職業能力を開発・強化していくことが不可欠です。個人が「働くこと」への働きかけを、国を挙げて強化していくために、その支援をする専門家が必要になってきたのです。

個人の主体的なキャリア形成を支援する体制の整備

「キャリアコンサルタント」になるには、国家試験に合格し、キャリアコンサルタント名簿に登録することが必要です。また資格者以外は「キャリアコンサルタント」やそれと紛らわしい名称を名乗れない名称独占資格です。キャリアコンサルタントには守秘義務が課せられ、個人情報や相談内容などの秘密が法律上も守られます。また、キャリアコンサルタントは5年ごとに資格更新を行い、最新の知識・技能を身につける必要があると規定されています。こうした規定が明文化された意味は、1人でも多くの労働者が安心、信頼してキャリアコンサルティングを受けられるようにするための国としての保証と言えるでしょう。国は、個人の主体的なキャリア形成を支援するための有力な手段の一つとして、キャリアコンサルティングを位置づけ、企業・教育機関・需給調整機関での活用を促進しています。

◆ 米国生まれ、世界資格、日本のスタンダード、GCDF

個人のキャリア支援のために生まれた米国認定資格「GCDF」※1。現在では、米国に加え、日本、ブルガリア、カナダ、中国、ドイツ、ニュージーランド、ギリシャ、シンガポール、韓国、香港、台湾など16地域で運営され、世界的に採用国が増えています。世界で、そして日本でも高まるキャリアカウンセラーのニーズ※2。そのニーズに応えるために、日本で初めてCCE※3認定プログラム、「GCDF-Japanキャリアカウンセラートレーニングプログラム」がスタートしたのが2001年のこと。2年以上の歳月をかけて日本向けにカスタマイズされたこのプログラムでは、社会の中で生きる個人のキャリア・ディベロップメントを支援する領域でプロとして活躍するための基本的なコンピテンシー（能力）を身につける

ことができ、2002年厚生労働省指定キャリアコンサルタント能力評価試験対応研修として認定されて以降、すでに多くのGCDF-Japanキャリアカウンセラー資格取得者が、個別相談やグループ対象プログラムの提供等を行うキャリアカウンセラーとして幅広く活躍しています。GCDFは、日本においてはもはやスタンダードな資格となっています。

2020年現在、より国際的な活躍を目指すGCDF-Japan資格者の方向けの資格(Provisional International Facilitator)の発行や、学習プログラムの提供に向けて、CCEおよびGCDF-USで連携の準備が進んでいます。

※1 GCDF(Global Career Development Facilitator)
キャリア・ディベロップメントを促進するための米国認定資格。不景気に端を発した失業者の増加にともない、再就職支援のためにクリントン政権の指揮の下に制定された。1997年8月よりCDF(Career Development Facilitator)として開始。2001年6月よりGCDF-USに名称変更。

※2 米国のキャリアカウンセラーについて
米国での各種キャリアカウンセラー資格や免許は、大学院カウンセリング専攻かつキャリアカウンセリングの実務経験2年以上などの厳しい条件を持つ。GCDF資格は、社会的なニーズから、より実務レベルにポイントを絞って開発された。

※3 CCE(Center for Credentialing & Education, Inc.)
米国ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く資格認定団体。GCDFカリキュラムの内容の認定、資格の認定発行を行う。全米最大規模のカウンセラー認定資格NCCの認定発行および各州カウンセラー資格試験の実施運営を行うNBCC(National Board for Certified Counselors, Inc.)の関連機関である。
<http://www.cce-global.org/>

日本におけるキャリアカウンセラーと今後の課題

「GCDF-Japanプログラム スタートによせて」
2003年11月

現在、日本ではキャリアカウンセラーへの期待が高まっているが、言葉(用語)の混乱、需要と供給のアンバランスなどに加えて、特にその資質が大きな課題となっている。改めて、「カウンセラーとは何をする人なのか」「カウンセラー教育には何が必要か」といった認識や目標の共有が必要な状況である。このような中で、『GCDF-Japanキャリアカウンセラートレーニングプログラム』は、キャリアカウンセラー教育の日本初の体系的なプログラムとして、ますますその存在意義を増していると言えよう。このプログラムは、米国の認定資格「GCDF」のカリキュラムがベースとなっている。米国だから良いというわけではないが、カウンセラーの教育・訓練において、少なくとも60年あまりの歴史をもつAmerican Counseling Association(ACA)とNational Career Development Association(NCDA)によるカウンセリングのインフラ作りの過程に

的なプログラムとして、ますますその存在意義を増していると言えよう。このプログラムは、米国の認定資格「GCDF」のカリキュラムがベースとなっている。米国だから良いというわけではないが、カウンセラーの教育・訓練において、少なくとも60年あまりの歴史をもつAmerican Counseling Association(ACA)とNational Career Development Association(NCDA)によるカウンセリングのインフラ作りの過程に

◆ キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタントの任務と活躍の場

キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタントの任務は、相談者との個別カウンセリングだけではありません。ワークショップの開催や、質の高いカウンセリングを提供するために学習を続けることも含め、個人のキャリア・ディベロップメント促進を目的とすることすべてが任務なのです。資格取得後は、企業内だけにとどまらず、様々な分野・場所でスキルを活かしていくことができます。

任務

- ▶ 就職・転職のキャリア・ディベロップメント支援
- ▶ 相談者のニーズに合わせた意思決定の支援
- ▶ キャリア・ディベロップメント促進のためのプログラムの開発・実施
- ▶ キャリア・ディベロップメント促進のための社会システム構築への貢献・広報活動 …など

活躍の場

◆ 企業

- ▶ 企業内キャリアカウンセラー(カウンセリング室など)
- ▶ 人事部での各種相談、能力開発プログラム、人材配置、研修、教育
- ▶ 人材サービス企業全般
- ▶ 人事コンサルタント …など

◆ 需給調整機関(ハローワークのような職業相談機関など)

- ▶ キャリアカウンセラー(求職の相談員)
- ▶ キャリアカウンセラーへのコンサルテーションや運営 …など

◆ 教育機関

- ▶ キャリア・センター
- ▶ 高校・大学など学校内における履修相談、進路のアドバイス
- ▶ 小・中学校からのキャリア教育(発達段階に応じたセミナー・職場体験の企画など)
- ▶ 自己発見プログラムの提供と就職活動のアドバイス
- ▶ ワークショップ(ジョブクラブ、OB懇談会、業界研究)
- ▶ グループ就職ガイダンス …など

政府が導入を進めている「ジョブ・カード制度」※1や、「セルフ・キャリアドック制度」※2の担い手としても、人材育成(職業能力向上)や若手社員の定着支援ほか多くの課題の解決を期待されています。

※1 「生涯を通じたキャリア・プランニング」及び「職業能力証明」の機能を担うツールを活用したキャリアコンサルティングによる個人のキャリアアップや多様な人材の円滑な就職することを目的とする制度
※2 労働者のキャリア形成における「気づき」を支援するため、年齢、就業年数、役職等の節目において定期的にキャリアコンサルティングを受ける機会を設定する仕組み



個人に向けて／面談：企業内カウンセリング



多数の人たちに向けて／就職活動セミナーで講師



数名のグループに向けて／グループセッション

おいて生まれたプログラムの一つなので、信頼性の高い内容だと言える。いずれにせよ、個人、組織、社会の様々なニーズに応えられる、より高度な専門家としてのキャリアカウンセラーが不可欠となっている現在、GCDF-Japanのプログラムがこの期待への回答の一つと言えよう。



渡辺三枝子

Mieko Watanabe
筑波大学名誉教授

上智大学大学院博士課程単位満了。米国ペンシルバニア州立大学大学院博士課程(カウンセリング心理学、カウンセラー教育専攻)修了。哲学博士取得。主な著書に「キャリアカウンセリング入門」「カウンセリング心理学」「インターンシップが教育を変える」(共訳)がある。

◆「GCDF-Japanキャリアカウンセラートレーニングプログラム」の特長

当プログラムは、社会や働く人々を取り巻く環境や時代の変化に対応して進化を続けています。
キャリア支援に関わる専門家として「現場で今必要とされる幅広い知識と実践的なスキル」
を理解しやすいステップで学習していきます。

◆ 少人数制で体系的に学べるカリキュラム

基盤学習	第1回	個人のキャリアとキャリアカウンセラーの役割理解
基礎力を身につける	第2回	★カウンセリング実技
	第3回	★カウンセリング実技
	第4回	キャリア発達の理論モデル
	第5回	★カウンセリング実技
	第6回	キャリアの意思決定と行動を支援する
	第7回	★カウンセリング実技
実践力を高める	第8回	法規・カウンセラーの倫理・人事管理の理解
	第9回	★カウンセリング実技
	第10回	★カウンセリング実技
	第11回	クライアントの就業能力開発支援
習熟確認	第12回	CDPとケースマネジメント・総まとめ

約80%
が
アクティビティ

▶ 12日間の通学中心のプログラム

キャリアコンサルタント国家資格～国家技能検定2級レベルを想定した幅広い知識やスキルを、豊富なアクティビティ（体験学習）を通じて体系的に学習します。通学中心のプログラムのため、学習のペースを管理しやすく、実践的に学ぶことが可能です。

▶ 1クラス15名程度のクラス担任制

企業や教育現場等でのキャリアコンサルティング経験も非常に豊富な講師（GCDF-Japan資格者）が12日間の講義を行い、受講者一人ひとりの理解が深まるよう、きめ細かいアプローチとサポートを実現しています。

▶ カウンセリング実技の実習が充実（6日間）

面談のプロセス（進め方）や、クライアントへの関わり方について多様な実習を通じて学習します。

GCDFのカウンセリング実技指導は、3年間に及ぶ訓練を受けた講師による国内最高水準の講義です。

〈主な実習〉

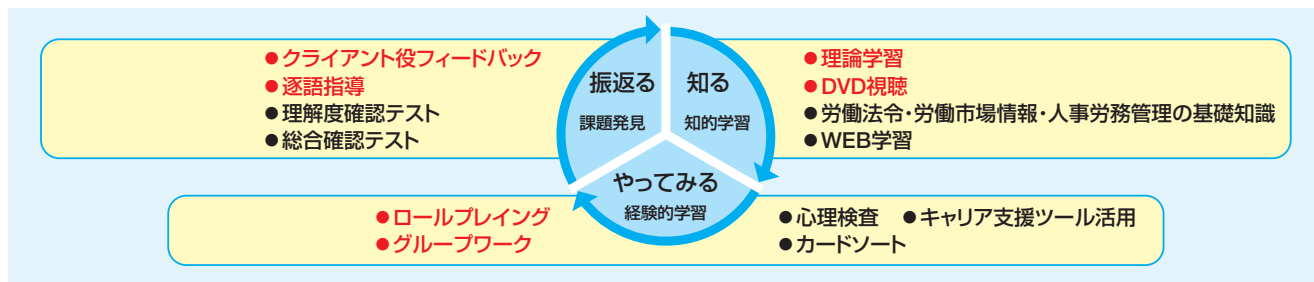
- 実際のカウンセリング場面の映像教材を視聴して知的理解を進める
- キャリアカウンセリング協会認定のクライアント役とのロールプレイングやフィードバックで実践的な経験を積む
- カウンセリング専門講師との個別の逐語指導機会で自分の課題を発見し、克服する

◆ プロに選ばれるキャリアカウンセラー資格

▶ 受講者の勤務先／人材サービス企業：39%、企業人事等：38%、学校・研修教育関係：16%

キャリアカウンセリングのプロである人材サービス企業、企業人事や大学等の教育機関、キャリア・センター等の第一線で働くカウンセラーにも高い評価を頂いています。

◆ 多様なフィールドで活かせる実践力を強化



VPI職業興味検査、OSI職業ストレス検査などのアセスメント（心理検査）、ジョブ・カード、職業情報をはじめとするキャリア支援ツールの活用やプログラム開発の体験学習を含め、多種多様なフィールド（現場）で活かせる実践力を強化。「キャリア教育」「ストレスマネジメントとメンタルヘルス」「ジョブカード制度」は各領域の専門家による講義を視聴し、習熟度確認テストも受験できるWEB学習プログラムも提供しています。

- ▶ 人事労務管理…組織で役立つ力
- ▶ メンタルヘルス…専門機関へのリファー（紹介）ができる力
- ▶ キャリア教育…教育機関（小・中・高校・大学等）で必要な力
- ▶ 多様な人々の支援…自立困難な若者・女性・中高年等の支援に必要な力
- ▶ ジョブ・カードを活用する…需給調整機関などで活かせる力

【キャリアコンサルタント能力評価要件対応】

- キャリアコンサルティングの社会的意義
- キャリアコンサルティングを行うために必要な知識
- キャリアコンサルタントの倫理と行動、ほか

◆ 主なトレーニング・プログラム開発者およびテキスト開発協力者

GCDF-Japanキャリアカウンセラートレーニングプログラムおよびテキストは、米国の政府外郭団体NOICC（National Occupational Information Coordinating Committee）が策定した要項をもとに、各有識者の助言をいただきながら日本市場向けに全面改定をしたものです。



Lee J. Richmond, Ph.D.

ロヨラ・カレッジで教鞭をとる一方で、米国郵政公社や大手企業などを対象にキャリア・ディベロップメントのコンサルタント、トレーナーとしても活躍。アメリカ・カウンセリング協会（ACA）会長、全米キャリア・ディベロップメント協会（NCDA）会長、キャリア・ディベロップメント訓練機構（CDTI）ボードの議長選挙会長を歴任する。2002年7月、NCDAよりEminent Career Awardを受賞。



Harvey Shemelter-Davis, M.A.

ラトガーズ大学キャリア・アンド・ワークフォース・デパートメントのコンサルタント。また、AT&T Bell Laboratoriesで、キャリア研修をした実績を持つ。現在では、同大学ジョン・ジェー・ヘルドリッチ・センターで、ワンストップ・キャリア・センター（職業安定所）職員向けGCDFプログラムにも精を出している。



Akira Otani, Ed.D.

メリーランド大学キャリア・センターでキャリア・カウンセリング、カウンセリングを行う一方で、カウンセリングのクラスで教鞭をとる。1993～1996年にかけて、メリーランド州カウンセラー州認定委員会の副議長を務める。ロヨラ・カレッジ非常勤講師、ジョンズ・ホプキンズ大学非常勤講師。

島 悟 先生

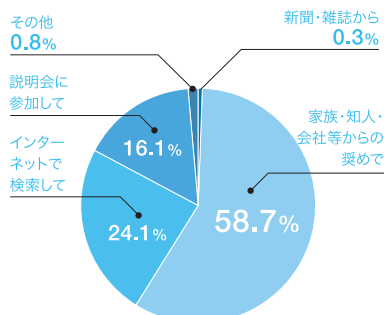
産業精神保健研究所所長・神田東クリニック院長

※その他にも多数の専門家の方々にご協力をいただきました。
略歴はいづれも執筆・監修当時。

◆ 受講者の声

Q1 GCDF-Japanを選んだ理由・期待していたことは？

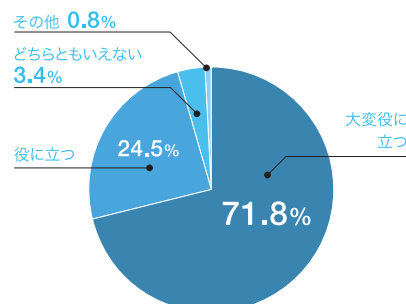
● 受講のきっかけ



◆ 受講者の半数以上が、受講修了された方からのオススメ！

Q2 プログラム全体を通しての感想は？

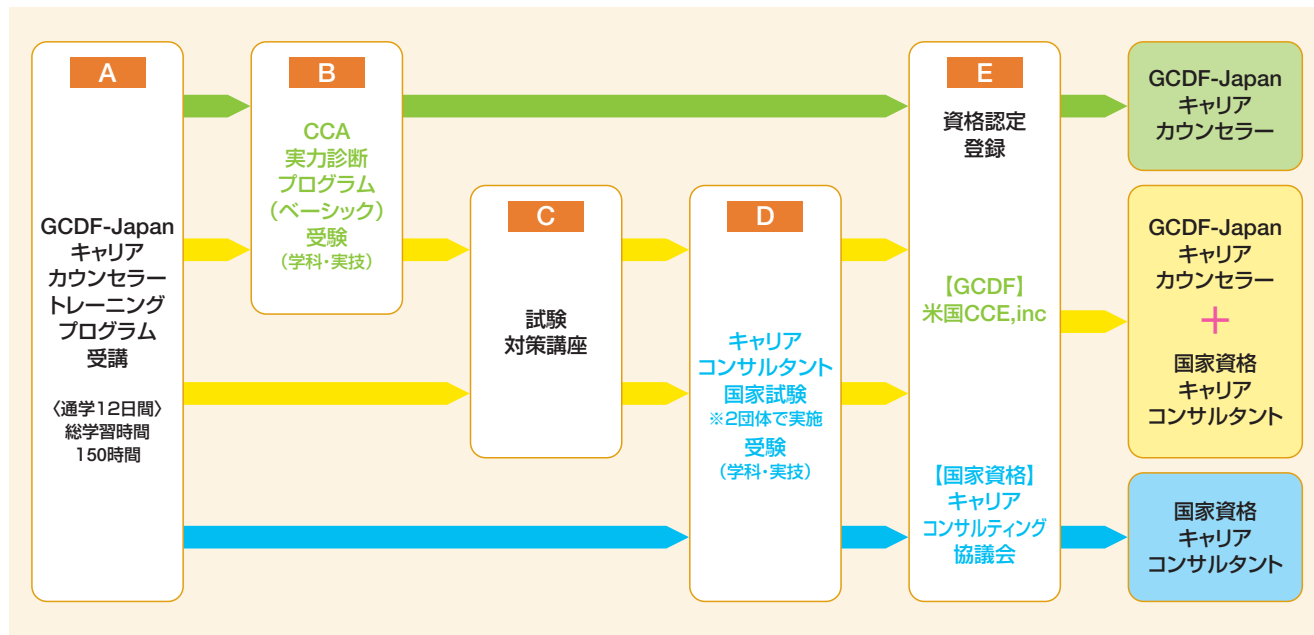
● プログラム評価



◆ カウンセリングのプログラムが充実で大変役に立った！

講座受講から資格取得までの流れ

「GCDF-Japanトレーニングプログラム」受講修了後は、2つの資格、
「米国CCE認定GCDF-Japanキャリアカウンセラー」と「国家資格キャリアコンサルタント」
のダブル取得を目指せます。



A GCDF-Japanキャリアカウンセリングトレーニングプログラム受講

全12回の通学講義のうち第12回目の講義を含む10回以上出席して受講を修了すると、
キャリアコンサルティング実務経験がない方でも、基礎的な知識・スキルが身につけられ、

- キャリアコンサルタント国家資格
- 米国CCE.inc認定GCDF-Japanキャリアカウンセラー資格

2つの資格の取得を目指す試験が受験可能になります。

B CCA実力診断プログラム(ベーシック) ※どなたでも受験可能

正解率や達成度、ご自身の課題・実力レベルが分かるフィードバックコメント・試験結果をスピーディーにお届けします。国家試験に備え、力だめしとしての受験にも(学科・面接・論述の一部受験も可)。

学科・実技ともに合格すると、GCDF-Japanキャリアカウンセラー資格取得条件を満たします(別途審査有)。

C 試験対策講座

トレーニング修了後も、希望者には「学科試験対策講座」・「実技試験対策講座」を各種ご用意。
ご自身の課題に応じた試験準備が可能です。

D キャリアコンサルタント国家試験

厚生労働大臣が登録した試験機関が行う国家試験で学科・実技ともに合格すると、
「キャリアコンサルタント国家資格」だけでなく、「GCDF-Japanキャリアカウンセラー資格」の取得も目指せます。

E 資格認定・登録

GCDF-Japanキャリアカウンセラー資格の取得にあたっては、キャリアカウンセリング協会が米国CCE.Inc.への審査・登録手続きをサポート。キャリアカウンセリング協会(CCA)実力診断プログラム(ベーシック)・キャリアコンサルタント国家試験の結果発表時期にあわせ、年に数回の資格取得チャンス。(CCA実力診断プログラム(ベーシック)で学科合格・国家試験で実技合格といった合格科目の組み合わせでも、GCDF-Japanキャリアカウンセラー資格取得を目指せます。)

キャリアコンサルタント国家資格は、国家試験合格後、厚生労働大臣指定登録機関への登録手続きが必要です。

◆ 資格取得後の学習・国家資格更新講習と活躍のサポート

キャリアカウンセリング協会は、さらなるステップアップと活躍を目指す資格者の方に向けて各種学習講座・セミナー情報や、資格を活かせる仕事情報のご提供ほか、各種サポートを行います。キャリアコンサルタントとして必須の更新講習や、プロとして「熟練レベル」・「指導者レベル」を目指す体系的なトレーニング・セミナーを受講できる機会も充実しています。

知識の幅を広げる、スキルを深める

- カウンセリング力向上のための各種トレーニング
- 著名な学識者のセミナー
- 普段のカウンセリングを振り返るための講座(CCA実力診断プログラム・スーパービジョンプログラム)

などで自身の興味・関心に応じて受講できる様々な学習機会を提供



希望者向け「試験対策講座」

- キャリアコンサルタント国家資格、GCDF-Japanキャリア資格、「熟練レベル」のスキルを証明する「2級キャリアコンサルティング技能士」を目指す方に向けた試験対策講座。
(学科試験・実技試験対策各種あり)

資格者として活躍の場を広げる

- 資格取得後、実際のキャリアカウンセリングの経験を積みながら専門講師の指導を個別に受けられる「CCA認定キャリアカウンセラープログラム」。
- キャリアカウンセリングを実践する場が少ない方や、実際のカウンセリング未経験の方が、資格者として活躍の場を広げる機会を提供。

指導者を目指す

- 筑波大学とキャリアカウンセリング協会が共同開発した「CCAスーパーバイザー養成・認定プログラム」は、カウンセラーを指導するスーパーバイザーに必要なスーパービジョンについての教育とスーパーバイザー自身の質の確保のための認定試験で構成。
- 2018年より、筑波大学主催「キャリア・プロフェッショナル養成講座」に協賛。
- 国家検定「1級キャリアコンサルティング技能士試験」の受検者にも好評のプログラム。



様々なキャリアコンサルタント更新講習

- キャリアカウンセリング協会実施の各種学習プログラムのうち22講座は厚生労働大臣指定「キャリアコンサルタント更新講習」(追加申請準備中の講座あり)。
- GCDF-Japanキャリアカウンセラー資格・キャリアコンサルタント資格の継続・更新に必要な学習プログラムを計画的に受講・申請できるような体制を「CCAの学び体系」として整備。

◆ サポート体制

仕事・求人情報

希望者には資格を活かす仕事・求人情報を随時メール配信します。

学習情報

ご自身のニーズ・興味・レベルに応じて受講いただける様々な学習・セミナー情報をメール配信します。

メールマガジン

資格者として必要なリアルな情報や、資格者の活躍状況などをメールマガジン形式で配信します。

CCA学習 マイページ

WEB学習講座の視聴・CCA主催の学習講座受講履歴を管理できます。
(GCDF資格者専用Myページもあり)

米国CCE,Inc.との 連携強化(準備中)

国際的な活躍を目指す資格者に向けた資格(Provisional International Facilitator)の発行や、学習プログラム、情報配信、国際会議の実現に向けて、米国CCE,Inc.を通じて各国GCDFへの働きかけを強化しています。



Global Career Development Facilitator Japan

グローバル・キャリア・ディベロプメント・ファシリテーター・ジャパン

◆ GCDF-Japanキャリアカウンセラートレーニングプログラム受講要綱

受講料

本体価格**396,000円**(税込)

(12日間・通学コース／

テキスト代金+WEB学習講座受講料金含)

※クレジットカード払い・分割払い(提携学費ローン)も承ります。

受講期間

通学**12日間**

(3ヶ月コース／5ヶ月コース)

総学習時間**150時間**(ホームワーク含む)、

通学時間帯各回**9:30～18:30**

(コース日程・会場についてはホームページ他にてご確認ください)

◆「専門実践教育訓練給付金」の手続きについて

個人で受講される場合は、「教育訓練給付制度」を利用可能です。

手続き方法や受給資格等については、お早目にお近くの公共職業安定所(ハローワーク)にお尋ねください。

支給対象者	雇用保険加入期間 3年以上 (初めて給付を受ける場合、当面2年以上)
給付率	A) 研修代金の 50% (年間上限 40万円) + B) 修了後1年以内に資格取得し就職につながった(雇用保険一般被保険者だった)場合、研修代金の20%を追加支給 ⇒ A)+B) 合計 70% (年間上限 56万円)
注意事項	受講開始日の1カ月前までに、ハローワークでの受給資格確認手続き(訓練前キャリアコンサルティング、ジョブカード発行、必要申請書類提出)が必須です。 ※詳しくはハローワークにお問い合わせください。

◆ お問い合わせ先▶▶▶▶

特定非営利活動法人

キャリアカウンセリング協会

〒105-0004 東京都港区新橋1-16-4 りそな新橋ビル4階

TEL: 03-3591-3569 FAX: 03-3591-4665

<http://www.career-npo.org/>



CAREER
COUNSELING
ASSOCIATION

GCDF-Japan事務局

TEL: 0120-048-840

E-Mail: gcdf@career-npo.org

<http://www.career-npo.org/GCDF/>

GCDF-Japan資格者数 5,017人(2019年9月現在)



GCDF™

GCDF資格発行団体・米国CCE, Inc.

<http://www.cce-global.org/GCDF>



CENTER FOR
CREDENTIALING
& EDUCATION™

基幹会員企業様(50音順)



特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会は、私たちの設立趣旨にご賛同いただいた基幹会員企業の皆様に支えられています。

2024 年 9 月 25 日

GCDF-Japan キャリアカウンセラートレーニングプログラム
資料をご請求いただいた皆様へ

キャリアカウンセリング協会
GCDF-Japan 事務局
TEL 0120-048-840

「専門実践教育訓練給付金」の手続きについて

2024 年 10 月より「専門実践教育訓練給付金」の給付率が最大 80%となる変更がございましたのでお知らせします。
本パンフレットの表 4 に記載の【◆「専門実践教育訓練給付金」】の手続きについては、下記が最新情報です。

◆「専門実践教育訓練給付金」の手続きについて

個人で受講される場合は、「教育訓練給付制度」を利用可能です。

手続き方法や受給資格等については、お早めにお近くの公共職業安定所（ハローワーク）にお尋ねください。

支給対象者	雇用保険被保険者期間 3 年以上 (初めて給付を受ける場合、当面 2 年以上)
給付率	A) 研修代金の 50% + B) 修了後 1 年以内に資格取得し、かつ雇用保険被保険者として 雇用されている場合、研修代金の 20%を追加支給 + C) 受講後の賃金が 5%以上増えた場合、研修代金の 10% を追 加支給 ⇒A)+B)+C) 合計 80%
注意事項	受講開始日の原則 2 週間前までに、ハローワークでの受給資格確認手 続き（訓練前キャリアコンサルティング、ジョブカード発行、必要申請書類 提出）が必須です ※詳しくはハローワークにお問い合わせください

GCDF-Japan キャリアカウンセラートレーニングプログラムの「専門実践教育訓練給付金明示書」（指定講座番号）
等は、GCDF のサイトでご確認ください

専門実践教育訓練給付金の利用について

<https://www.career-npo.org/GCDF/entry/benefit2.html>

